

2007.5 第45号

さいきょうベンチャーリポート



P3～株式会社オンネット・システムズ
社員の皆さんと、展示会の様子



SAIKYO

2. 入社式を振り返って
3. ベンチャー企業紹介 株式会社オンネット・システムズ
5. セミナー案内
6. 受講者募集：ものづくり研修事業について
7. 弁理士：井上浩の知財小話

「さいきょうベンチャーリポート」は、株式会社エス・ケイ・ベンチャーズが
毎月お届けするベンチャー企業情報誌です。

Made in ちゅうごく

株式会社オンネット・システムズ 代表取締役 重永 裕祥 さん

今回のゲストは、東京地区で活動している山口県出身のベンチャー企業、株式会社オンネット・システムズさんです。大手企業を45歳で退職後、一念発起で起業されて早6年。休日はテニスで汗を流されている重永社長にお話を伺いました。



重永裕祥社長

——創業の経緯を教えてください。

昭和49年に地元の下松工業高校を卒業しまして、東洋曹達工業株式会社（現：東ソー株式会社）に入社しました。東ソーでは、本社（東京）情報システム部門に45歳まで勤務しておりました。その中で一貫して、情報処理技術を用いた業務効率化を推進しておりました。中でも、日立製作所（下松工業高校創立者：久原房之助氏（山口県）設立なんです）と行った、全社基幹業務のシステム化は大きな経験となりました。20年の経験を通じ、コンピュータによる業務の効率化業務は極めて創造的な仕事であることを認識しました。20年前コンピュータは高価で、大企業しか利用できませんでした。しかし、技術革新によりコンピュータや通信は極めて安価になり、中小企業への導入も促進されると確信しました。しかし、一方で中小企業には、コンピュータを用いたシステム化ノウハウがまだまだ不足しており、システム化の大きな障害（システム化のために業務を整理する手順が）になっていると感じました。ここにこれまでの経験を以って挑戦する意義があると考え起業しました。

折しも、国のベンチャー育成支援の後押しもあった事をお加えておきます。

——お一人で起業されたのですか？

はい、1人で起業しました。6ヵ月後に2名となり、それから7年、現在は7名となりました。

——どのような方（企業）・どのような市場を対象とされていますか？

私たちは、これまで汎用コンピュータ（数億から数十億のコンピュータ）が行ってきた、業務システム（販売、購買、在庫、人事など）を安価なコンピュータ上で実現するシステムを自らで設計、構築から運用、保守まで一貫して手掛けております。自社で設計を行っておりますので、顧客企業のどのようなご要望にもお応えできるものと考えております。構築しましたシステムは上場企業でも稼働しております。

対象市場としましては「業務改善意欲のある企業」を挙げております。そういった意味ではすべての企業が対象です。その中で、中小企業は情報システム部門を設置できない会社が多いと思いますから、自社でシステムを適用する困難さがあります。そこに弊社の存在感があるものと考えています。キャッチフレーズであります「あなたの会社の情報システム部門になります」は、私たちの事業領域を的確に言い表していると思います。

つまり業務システムだけでなく、顧客企業全体の情報処理領域（PC、ネットワーク運用を含む）すべての業務に対応可能です。

